



第13回うじ井戸端会議を開催しました！！

第13回目（平成30年度の第3回目）となる、うじ井戸端会議を2月4日に開催しました。当日は、まちづくりマイスター、地区まちづくり協議会、その他まちづくりに興味のある方々の、総勢16名の方々にご参加いただきました！

今回は「防災について」というテーマで取り組み、市の危機管理室より出前講座という形で、災害の備え等についてご説明させていただきました。

（内容の一部を本紙裏面にてご紹介しております。）

説明の後は意見交換・質疑応答の時間を設け、参加者の皆様が災害に対して思われていることについて、沢山のご質問を頂きました。

当日の様子

当日はパワーポイントを用いて講座を実施しました！



「防災について」



宇治市の危機管理室から参加者の皆様に、自然災害の事例や災害に備えて（自助・共助）についてお話をさせていただきました！その一部をご紹介します！

災害を知る

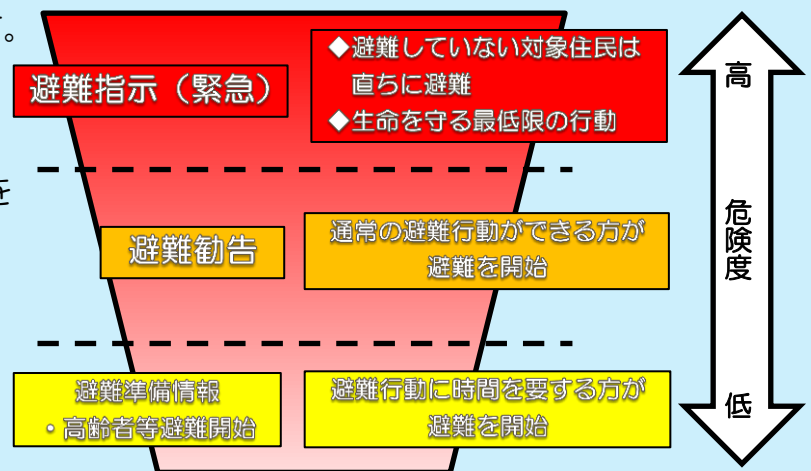
- 自然災害について（事例紹介）
 - ➡ 昭和 28 年水害（台風 13 号）の振り返り
 - ➡ 平成 24 年京都府南部地域豪雨災害での浸水や土砂災害の状況を紹介。
 - ➡ 洪水発生メカニズム、宇治市にかかる活断層の位置図、予想される被害について。



災害時の避難行動

- 避難情報について
 - ➡ 避難情報の中にも種類があります。（右図のとおり）
- 避難にあたって
 - ➡ カバンに詰めた非常持ち出し品を持ち出す。
 - ➡ 電気のブレーカーを落とす。
 - ➡ 戸締りを忘れない。
 - ➡ 自治会・町内会で決めている一時集合所へ。その後、集団で指定緊急避難場所（学校等）へ避難。

避難情報の違い



災害に備えて

- 食料・物資の備蓄
 - ➡ 3日分以上（出来れば 1 週間分）・・・「あったら便利」ではなく「なければ困るもの」
例：メガネや常備薬、貴重品や身分証明に関するものなど
- 地図を作っておくことの重要性
 - ➡ 避難するための経路の確認。一時的な避難場所を選定し、その場所までの経路を作成しておく。また、町内会で災害時の連絡網を作成しておく。

～たくさんのご参加ありがとうございました～